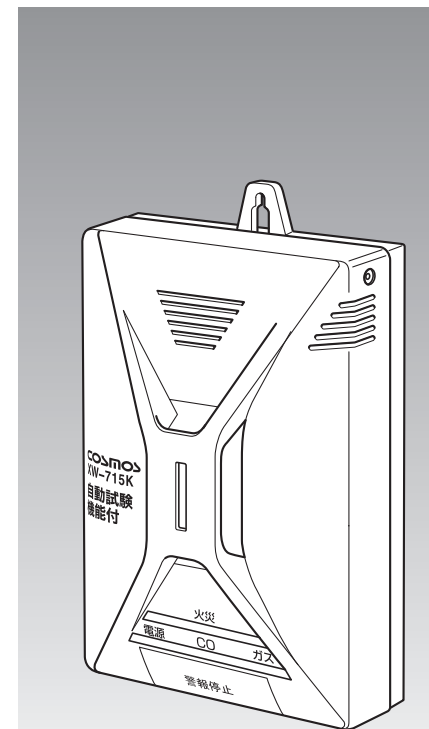


住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器

型式名 **XW-715K**

取扱説明書

- 住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器をお取り付けいただきありがとうございました。
- この取扱説明書は住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 取扱説明書および保証書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店または、最寄りのガス会社にお問い合わせください。
- 本警報器は、炎等の熱を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は炎等の熱を感知して、警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きません。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。



新コスモス電機株式会社

本社	〒532-0036	大阪市淀川区三津屋中2-5-4	TEL(06)6308-2310
東日本支社	〒105-0013	東京都港区浜松町2-6-2 (浜松町262ビル3F)	TEL(03)5403-2707
中部支社	〒461-0004	名古屋市東区葵3-15-31 (千種第2ビル5F)	TEL(052)933-1680
関西支社	〒532-0036	大阪市淀川区三津屋中2-5-4	TEL(06)6308-2310
九州・中国支社	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-1-1 (NORITZビル5F)	TEL(092)431-1881
札幌営業所	〒060-0005	札幌市中央区北五条西6-2-2 (札幌センタービル20F)	TEL(011)231-1101
仙台営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-12-7 (ティエヌビルディング4F)	TEL(022)295-6061
新潟営業所	〒950-0916	新潟市中央区米山3-1 (ファースト米山201)	TEL(025)365-1390
静岡営業所	〒420-0851	静岡市葵区黒金町11-7 (三井生命静岡駅前ビル2F)	TEL(054)255-1901
北陸営業所	〒920-0065	金沢市二ツ屋町8-1 (アーバンニュースフルビル2F)	TEL(076)234-5611
広島営業所	〒732-0827	広島市南区稲荷町2-16 (広島稲荷町第一生命ビル6F)	TEL(082)568-2800
九州営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-1-1 (NORITZビル5F)	TEL(092)431-1881
岡山出張所	〒712-8051	倉敷市中畝2-8-22 (岡一ビル1F)	TEL(086)456-5200

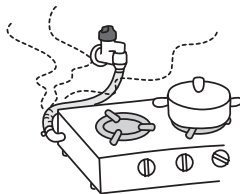
販売店



警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

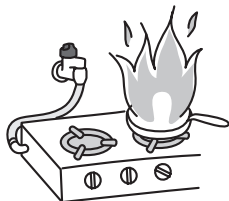


《お断わり》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

■ 火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると、それを感知して警報を発します。



《お断わり》

- 換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が動きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

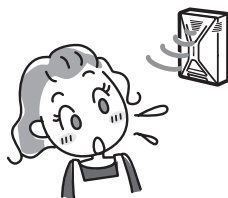
もくじ

はじめに



安全上のご注意	3
対象ガス	6
各部のなまえとはたらき	7
警報器のお知らせ機能について	8
使用方法	11

警報器が 作動したら



1 『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました確認してください』 と鳴ったときの処置のしかた	12
2 赤(ガス警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた	14
3 黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた	14
4 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置のしかた	15
5 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 と鳴ったときの処置のしかた	17
6 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 が交互に鳴ったときの処置のしかた	19
7 異常がないのに警報音が鳴ったり、 ランプが点滅したときの処置のしかた	21
ランプ表示・音声出力の事象一覧表	23

取り扱い かた



お手入れのしかた	25
警報器の取り外し・取り付けかた	26
噴霧式殺虫剤を使用するときは	27
日常点検	29

その他



故障かな?と思ったら	31
アフターサービスについて	31
仕様	32

取付位置の確認	33
---------	----



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「必ず行う」事項を示しています。
- 「火気厳禁」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「接触禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「一般的な禁止」事項を示しています。

危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。

必ず行う ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



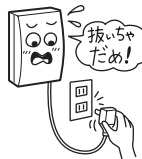
火気厳禁 マッチやライターなど、火気を使わないでください。



禁止 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。



禁止 電源プラグを抜かないでください。



禁止 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



必ず行う 火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。



禁止 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



警告

必ず行う 常に電源が入っていること（緑（電源）ランプ点灯）を確認してください。電源が入っていないと火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発生しません。

必ず行う 設置後、5年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

誤動作または正常に作動しない恐れがあります。また、5年を越えて長期間ご使用されますと、電源プラグ（予備コンセント含む）がほこりや水分の影響により発煙・発火する恐れがあります。有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

必ず行う 噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。（P.27～29参照）

- 警報器をポリ袋などで覆う。
 - 噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。
- 誤作動の原因となります。

水ぬれ禁止 警報器や電源プラグ（予備コンセント含む）を水につけたり、水をかけたりしないでください。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

接触禁止 ガードの中にある熱感知部には触らないでください。火災を感知しなくなる恐れがあります。



分解禁止 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

分解禁止



安全上のご注意



衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。



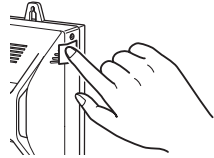
警報器をお手入れするとき以外は、
電源プラグを抜かないでください。
火災、ガスもれ、COが発生しても、
警報を発しません。
警報器以外の電気製品を同時に使用
するときは、警報器の電源プラグに
付属の予備コンセントを使用してく
ださい。



電源コードにステップルや釘などを
打たないでください。
火災の原因となります。



ガス検知部は、絶対にふさがないで
ください。
ガスもれまたはCOを検知しなくなり
ます。



煙感知式住宅用火災警報器に用いら
れる点検ガスを噴霧しないでくださ
い。
点検ガスにフロンガスが含まれてい
る場合、ガスセンサの故障の原因と
なります。

電源プラグや予備コンセントを使用するとき
は、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。



電源プラグにほこりが付着している
場合は、よく拭いてください。
火災の原因となります。



警報器の電源プラグ・予備コンセント
に接続する他の電気製品の電源プラグ
は、コンセントの奥まで確実に差し込ん
でください。

感電・ショート・発煙・発火や、電源
プラグ部分の過熱による焼損の恐れ
があります。



予備コンセントには、消費電力が
1490W以下の機器を接続してくだ
さい。
1490Wを超えると火災の恐れがあ
ります。



予備コンセントに接続する他の電気
製品は、必ず電源スイッチを切っ
てから電源プラグの抜き差しを行っ
てください。
感電の恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差しし
たり、予備コンセントを触ったりしな
いでください。
感電する恐れがあります。



警報器の電源プラグに大きな力をか
けないでください。
(例えば掃除機などの移動して使用
する電気製品を接続することや、頻
繁に抜き差しすることはおやめくだ
さい。)



⚠ 注意



警報器をお手入れするときは、必ず警
報器の電源プラグを抜いてください。
感電やけがの原因となります。



警報器の取り外し・取り付けを行う
ときや、警報器をポリ袋で覆うとき
は、安定した踏み台を使い、十分注意
してください。
転落・転倒・落下によるけがの恐れ
があります。



取付位置を移動させないでください。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたとき
は、販売店にご相談ください。



警報器の前に物を置いたり、取り付
けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。



警報器の近くでラジオなどを使用し
ないでください。
ラジオなどにノイズ(雑音)が入るこ
とがあります。警報器から距離を離し
てお使いください。



この商品は、消防法で定められた自
動火災報知設備には該当いたしません
ので、それらの用途には使用でき
ません。



対象ガス

⚠ 注意

●この警報器は火災(火災等による熱)、都市ガ
ス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼
排ガス中のCOを検知します。

●都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給
区域外ではお使いにならないでください。



各部のなまえとはたらき

●警報スピーカー

ガス、COを検知、または火災による熱を感知すると、音声合成音が鳴ります。

●熱感知部

熱を感知します。

●赤スライド(火災警報)ランプ

火災による熱を感知すると点灯します。
※点灯時はP.12を参照ください。

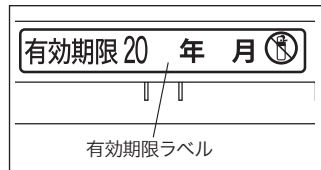
●緑(電源)ランプ

通常は点灯しています。
故障しているときに高速点滅します。
※点滅時はP.10を参照ください。

●警報停止スイッチ

警報音を停止させたり、外部機器との連動確認をするときに使用します。
※詳細はP.21・29を参照ください。

●有効期限ラベル

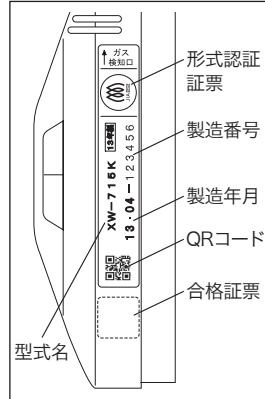


●ガス検知部

ガスおよびCOを検知します。

●ガス検知部点検口

●製造番号シール



●赤(ガス警報)ランプ

ガスを検知すると点滅または点灯します。
※点灯時はP.14～16を参照ください。

●黄(CO警報)ランプ

COを検知すると点滅または点灯します。
※点灯時はP.14・17～18を参照ください。

●電源コード

●電源プラグ

●予備コンセント

消費電力が1490W以下の機器を接続できます。

■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、速い点滅は次のように動作します。

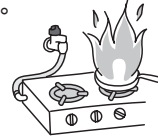
点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5秒周期)	
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.25秒周期)	
ゆっくり点滅	点灯と消灯の繰り返し (2秒点灯・1秒消灯周期)	



警報器のお知らせ機能について

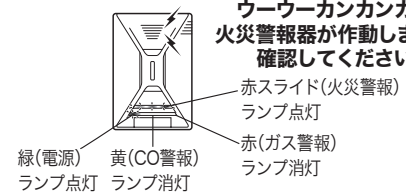
火災による熱が発生したときは

警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると作動します。



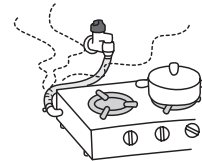
P.12参照

ウーウーカンカンカン
火災警報器が作動しました
確認してください



ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



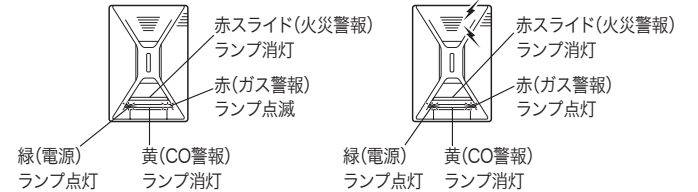
注意報

P.14参照

警報

P.15～P.16参照

ウーウービッピッピッピッ
ガスがもれていませんか



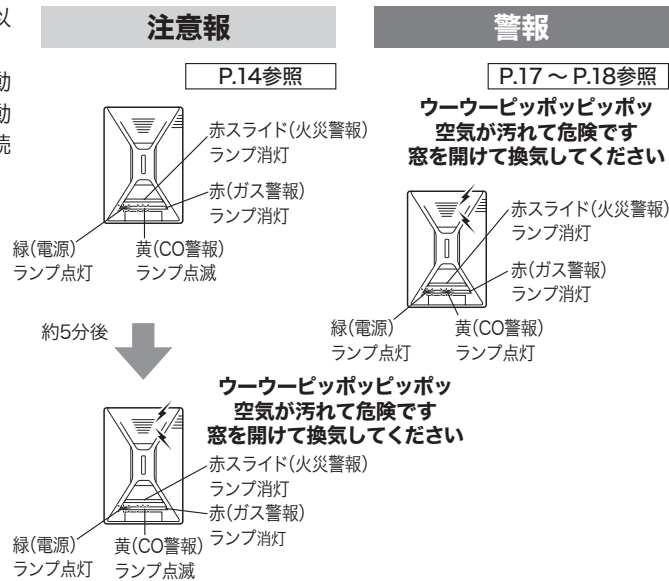
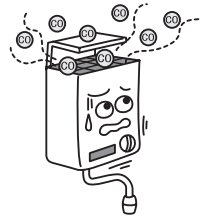


警報器のお知らせ機能について

ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。

低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)



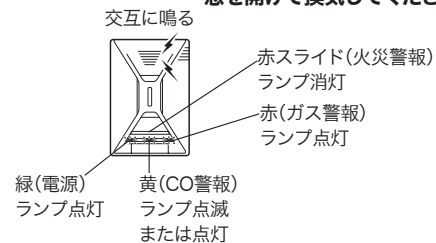
ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

P.19～P.20参照

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ウーウーピッポピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

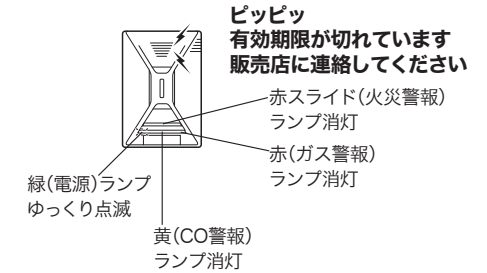


有効期限が過ぎたときは

有効期限を半年以上過ぎると緑(電源)ランプがゆっくり点滅し、警報停止スイッチを約3秒間押し、「ピッピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。

また、有効期限を半年以上過ぎて電源を再投入すると、30秒後に「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。

※販売店までご連絡ください。



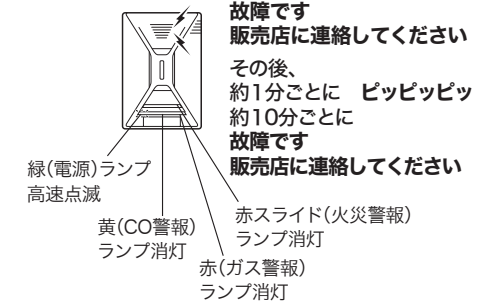
故障しているときは

故障が発生すると、「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。

その後に「ピッピッピッ」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに

「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。

それ以降も同じ警報を繰り返します。

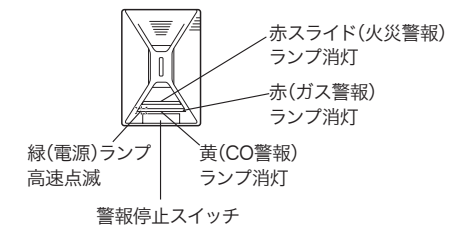


ただし、警報停止スイッチを押すと、警報音は約36時間停止します。

緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。

※販売店までご連絡ください。

※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

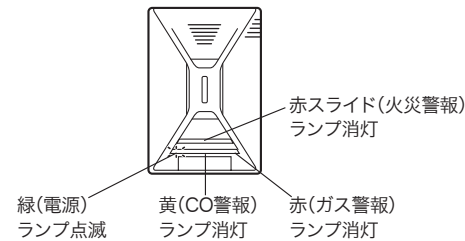




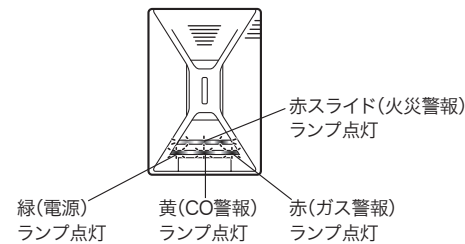
使用方法

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

緑(電源)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。



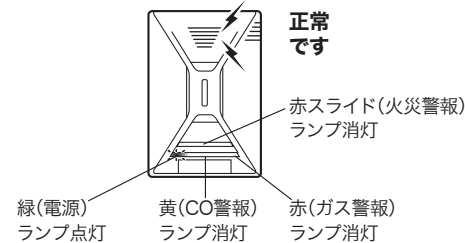
2 電源に接続してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。



3 「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯し、監視状態に入ります。

〈警報器が故障している場合〉

「正常です」とは鳴らずにP.10に記載している故障発生時の動作となります。
※販売店までご連絡ください。



1 『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました確認してください』と鳴ったときの処置のしかた 【赤スライド(火災警報)ランプが点灯】 〈火災警報〉

⚠ 危険

消火が不可能なときは、避難する。



必ず行う



〈お断わり〉

● 火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプの点灯、点滅の有無を確認してください。

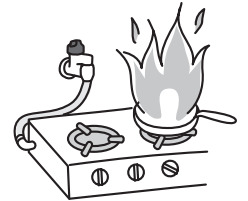
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。

● 赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプが点灯している場合は、P.14～20の処置を行ってください。

〈火災以外の熱などで火災警報を発しているとき〉

P.21の処置を行ってください。

1 火元の確認をする。

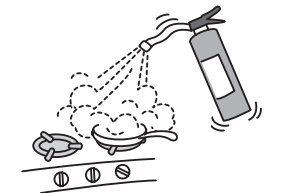


2 必要な手段をとる。

119番への通報

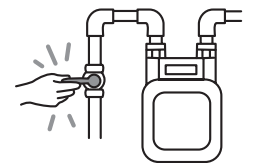


初期消火



天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときはガス会社にご連絡ください。



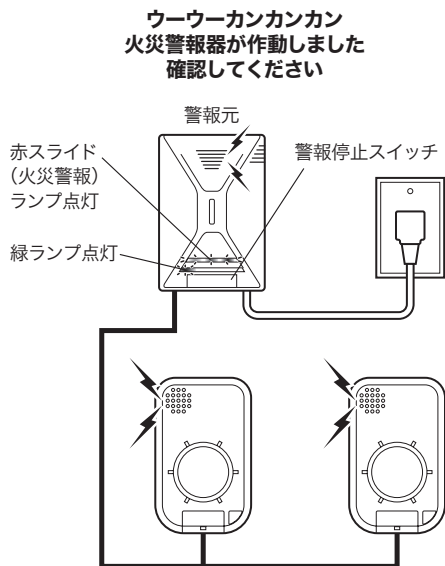
警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以下になると、警報音が鳴りやみ、赤スライド(火災警報)ランプが消灯します。

〈この警報器には相互連動機能があります〉

- 本警報器が火災警報を発したとき、連動接続された他の火災警報器も警報音を発します。

本警報器の警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみ、赤スライド(火災警報)ランプが消灯します。同時に、連動接続された火災警報器の警報音も鳴りやみます。

※警報元の警報器周囲の熱が規定温度(約65℃)以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。

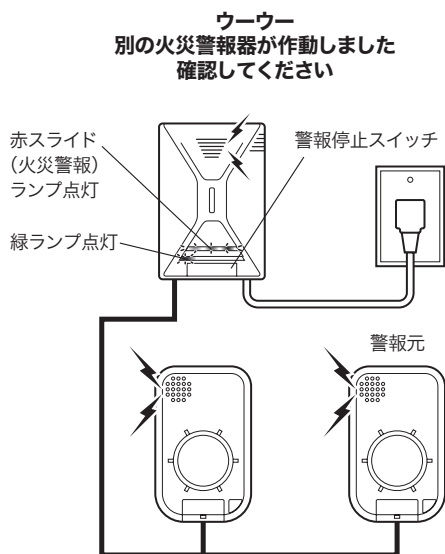


- 連動接続された他の火災警報器が火災警報を発したとき、本警報器では赤スライド(火災警報)ランプが点灯し、警報音が鳴ります。

本警報器の警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみ、赤スライド(火災警報)ランプが消灯します。

また、警報元の警報音声停止機能のボタンを押すと、本警報器の警報音は鳴りやみ、赤スライド(火災警報)ランプは消灯します。

※本警報器は、5分後に警報元が警報し続けている場合、再び火災警報を発します。



おねがい

連動接続された他の火災警報器は、機種により連動時の動作は異なります。必ず、接続する火災警報器の取扱説明書をお読みください。



2 赤(ガス警報)ランプ が点滅しているときの処置のしかた (ガス注意報)

《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は連動動作しません。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、赤(ガス警報)ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

ガス濃度がうすい場合に点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.22参照)



3 黄(CO警報)ランプ が点滅しているときの処置のしかた (CO注意報)

《お断わり》

- 外部機器と連動している場合、CO注意報(黄ランプの点滅のみであり、CO警報音が鳴っていない状態)では、外部機器は連動動作しません。

※黄(CO警報)ランプの点滅が約5分間継続すると、「ウーウーピッポピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、黄(CO警報)ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

CO濃度がうすい場合に点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.22参照)



4 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置のしかた 【赤(ガス警報)ランプが点灯】 (ガス警報)

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

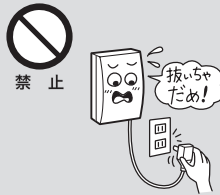
マッチやライターなど、火気を使わない。



換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



電源プラグを抜かない。



1 ドアや窓を開けて換気する。

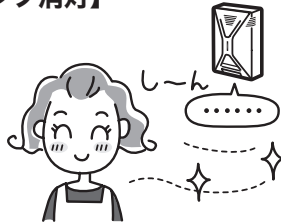


2 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。 【赤(ガス警報)ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

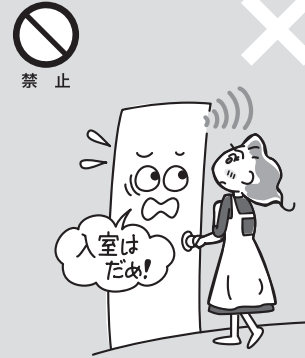
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。
爆発の恐れがあります。

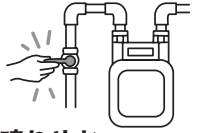


1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときはガス会社にご連絡ください。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。

※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

最寄りのガス会社へ
連絡する。

ガス会社





5 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】〈CO警報〉

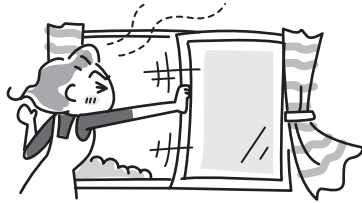
警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠ 危険

警報音が鳴ったら、**すぐに換気し、使用中のガス機器を止める。**

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。

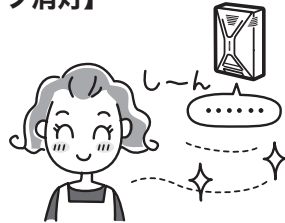


2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。【黄(CO警報)ランプ消灯】



部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。** CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。



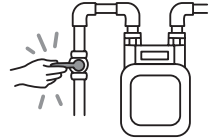
1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときはガス会社にご連絡ください。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声は30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。

※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声は30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

最寄りのガス会社へ
連絡する。

ガス会社





6 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれて いませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

が交互に鳴ったときの処置のしかた
【赤(ガス警報)ランプが点灯、黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】
〈ガス警報とCO警報の同時警報〉

警報音が鳴っている部屋にいるときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

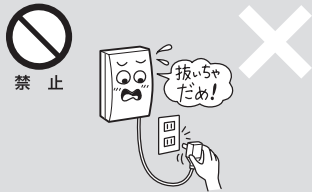
マッチやライターなど、火気を使わない。



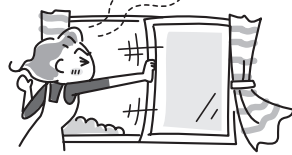
換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



電源プラグを抜かない。



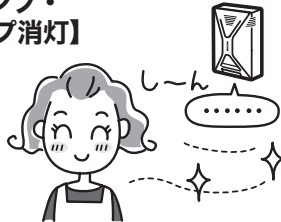
1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】



4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

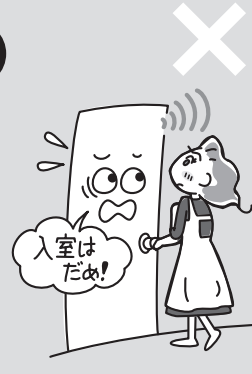
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

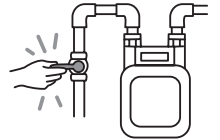


1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓をあけるときはガス会社にご連絡ください。



3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。

※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

最寄りのガス会社へ
連絡する。

ガス会社





7 異常がないのに 警報音が鳴ったり、ランプが点滅した ときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れで、
赤（ガス警報）ランプや黄（CO警報）ランプが
点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

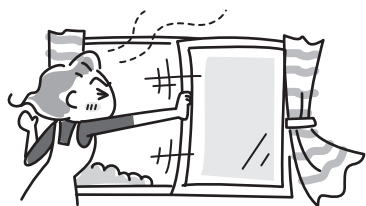
●ガス警報の警報音は1回だけ5分
間止めることができます。

●CO警報は、黄（CO警報）ランプ
が点滅しCO警報音が鳴っている
場合のみ、警報音を1回だけ5
分間止めることができます。

※ 警報器周囲のガスとCOが規定濃度
以下になっていない場合、停止時間
経過後に再び警報音を発します。

※ 外部機器と接続していて、かつ警報
器周囲のガスとCOが規定濃度以下
になっていない場合、停止時間経過
後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、 ランプの点滅や警報音が止まる。

火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは

〈火災警報音を止めたいとき〉

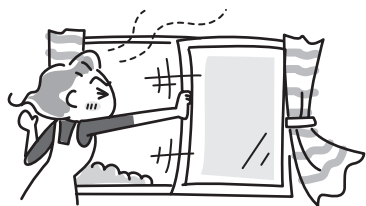
警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。

●火災警報音を5分間止めることが
できます。

※ 警報器周囲の熱が規定温度（約
65℃）以下になっていない場合
は、5分後に再び火災警報を発し
ます。5分後に再警報してもス
イッチを再度押すことで警報音を
止めることができます。

※ 外部機器と連動している場合、警
報音停止中は、外部機器の連動
動作は停止します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以 下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

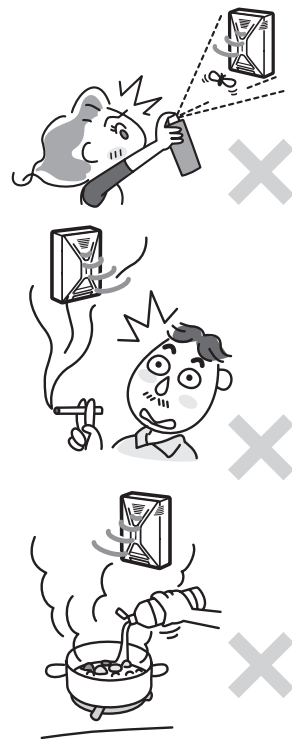
- 長い間閉め切られたお部屋や、高气密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサーの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど]）の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・CO警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていますか。
- 線香の煙が警報器にかかっていますか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていますか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていますか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

〈火災警報〉

- 調理中の熱がこもっていませんか。
- エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっていませんか。
- 熱感知部が故障している可能性があります。



おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤（ガス警報）ランプ・黄（CO警報）ランプが点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。



ランプ表示・音声出力の事象一覧表

ランプ				音声内容	事象	対応方法
緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)			
●	○	○	○	なし	通常動作(監視中)	—
●	○	◎	○	なし	ガス注意報	P.14参照
●	○	●	○	ガス警報音声「ウーウー ビッビッビッ ビッ ガスがもれていませんか」	ガス警報	P.15～16 参照
●	◎	○	○	なし	CO注意報	P.14参照
●	◎ または ●	○	○	CO警報音声「ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気 してください」	CO警報	P.17～18 参照
●	◎	◎	○	なし	ガス注意報とCO注意報	P.14参照
●	◎	●	○	ガス警報音声「ウーウー ビッビッビッ ビッ ガスがもれていませんか」	ガス警報とCO注意報	P.14～16 参照
●	◎ または ●	◎	○	CO警報音声「ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気 してください」	CO警報とガス注意報	P.14・17～18 参照
●	◎ または ●	●	○	ガス警報音声「ウーウー ビッビッビッ ビッ ガスがもれていませんか」と、 CO警報音声「ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気 してください」の交互音声	ガス警報とCO警報	P.19～20 参照
●	○	○	●	火災警報音声 「ウーウーカンカンカン 火災警報器が作 動しました 確認してください」	火災警報	P.12参照
●	○	◎	●		火災警報とガス注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス警報	
●	◎ または ●	○	●		火災警報とCO注意報 または警報	
●	◎ または ●	◎	●		火災警報・ガス注意報・ CO注意報または警報	
●	◎ または ●	●	●		火災警報・ガス警報・ CO注意報または警報	

●：点灯、◎：点滅、○：消灯

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

ランプ				音声内容	事象	対応方法
緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)			
●	○	○	●	火災連動警報音声「ウーウー 別の火災警 報器が作動しました 確認してください」	火災連動警報	P.13参照
●	○	◎	●		火災連動警報とガス注意報	
●	○	●	●		火災連動警報とガス警報	
●	◎ または ●	○	●		火災連動警報とCO注意報 または警報	
●	◎ または ●	◎	●		火災連動警報・ガス注意報・ CO注意報または警報	
●	◎ または ●	●	●		火災連動警報・ガス警報・ CO注意報または警報	
高速点滅	○	○	○	故障警報音声 はじめに「故障です 販売店に連絡してく ださい」と鳴り、1分ごとに「ビッビッビッ 故障です」、10分ごとに「故障です 販売 店に連絡してください」を繰り返す	故障警報(警報器が故障 診断機能により故障と判 断した状態)	お買い求め の販売店に 連絡してく ださい。
ゆっくり 点滅	○	○	○	有効期限切れ音声 「ビッビッ 有効期限が切れています 販 売店に連絡してください」 ※警報停止スイッチを押した場合	有効期限切れ(警報器の 有効期限が半年以上過ぎ た場合)	お買い求め の販売店に 連絡してく ださい。

●：点灯、◎：点滅、○：消灯

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

警報器が作動したら

警報器が作動したら

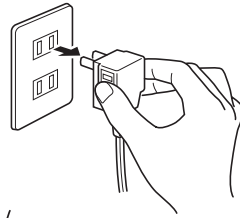


お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く。

《お断わり》

外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。



2 警報器を取り外す。 (P.26参照)

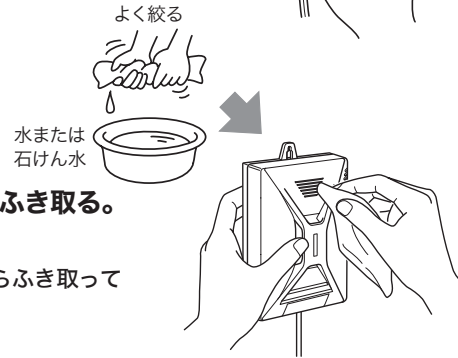
3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

●警報器表面・壁面

布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。

●電源プラグ

乾いた布でふき取ってください。



おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。

アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガス警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。



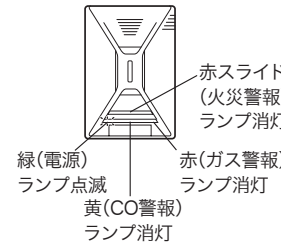
4 警報器を取り付ける。 (P.26参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込む。

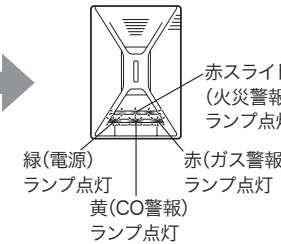
●警報器の電源が入ります。

緑（電源）ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑（電源）ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。異常があれば「故障です販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

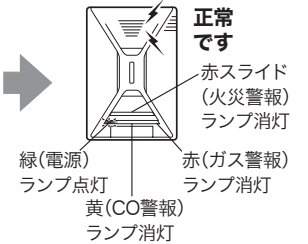
電源プラグを差し込む



差し込みから約30秒後



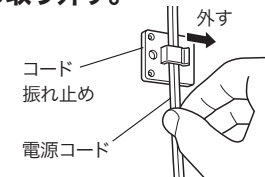
【監視状態】



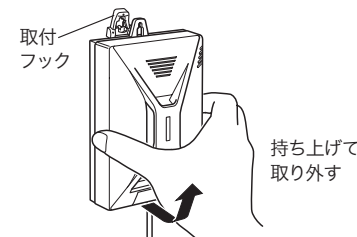
警報器の取り外し・取り付けかた

〈取り外しかた〉

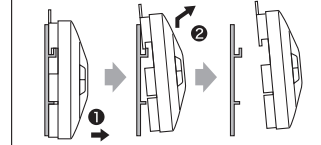
1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。



2 本体を持ち上げて取り外す。

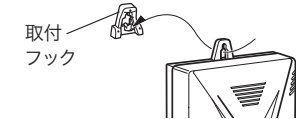


取付板からの取り外しかた

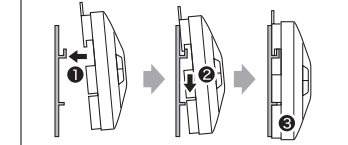


〈取り付けかた〉

1 警報器を取付フックに引っ掛ける。



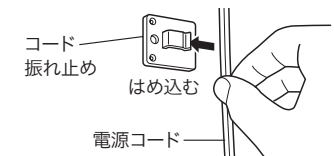
取付板への取り付けかた



2 電源コードをコード振れ止めに取り付ける。

〈確認〉

警報器が確実に固定されていることを確認してください。





噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気
をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに
噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源
プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることが
あります。また、外部機器（インターホンなどの
集中監視機器）と接続しているときは、警報器の
電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障
表示）が鳴ることがあります。

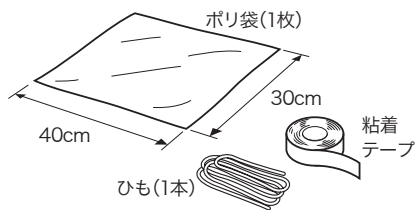
1. 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音
が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

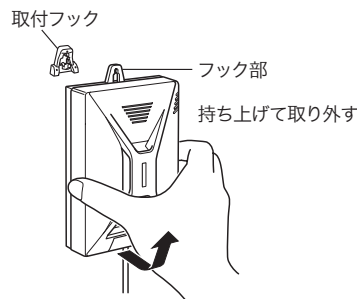
〈準備するもの〉

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(PPまたは>PP<表示)
※ ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも(1本)
- 粘着テープ



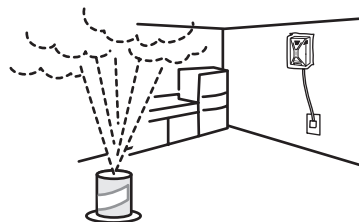
〈処置のしかた〉

- ① 警報器を取り外してください。(P.26参照)

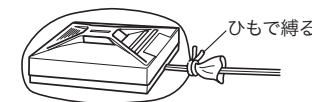


⚠ 注意

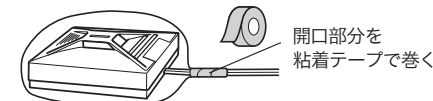
ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面
からの取り外し・取り付けは、高いところでの
作業になりますので、しっかりした踏み台を
使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。



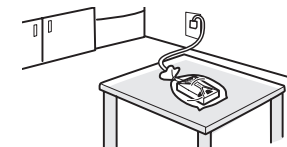
- ② 警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コード
の上からひもで縛ってください。



- ③ ポリ袋と電源コードの間に隙間ができな
いように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻
き付けてください。



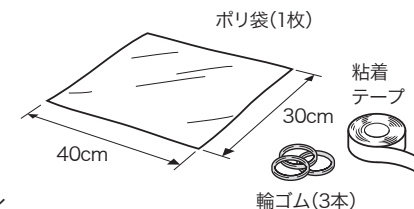
- ④ ポリ袋を傷めないように、警報器を安定する
ところに置いてください。



警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

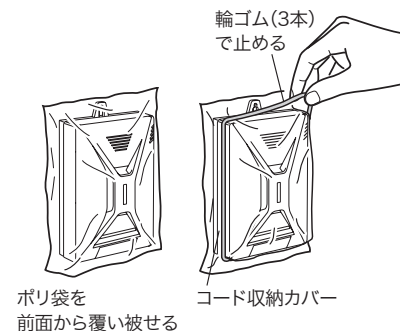
〈準備するもの〉

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(PPまたは>PP<表示)
※ ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 輪ゴム(3本)
- 粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、
またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。

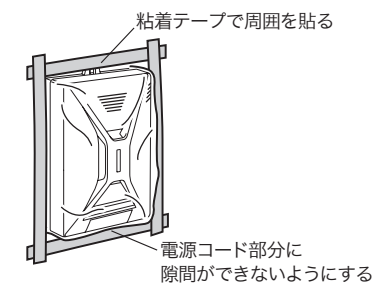


〈処置のしかた〉

- ① ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバ
ー部分を輪ゴム(3本)でしっかり止めてください。



- ② ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。
ポリ袋と壁面の間に隙間ができないように、粘着テープ
を貼ってください。
特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが
通っている部分に注意してください。
※ 壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けが
できない場合、①のみの処置でも一定の効果はあり
ます。

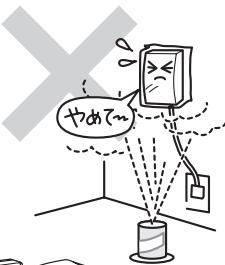




2.噴霧式殺虫剤を噴霧する

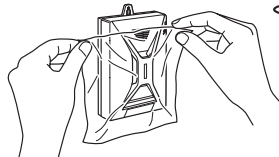
以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。



3.ポリ袋を取り外す

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。



おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。



日常点検

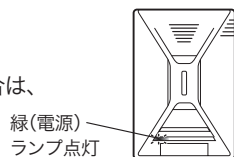
⚠ 警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。※ 緑(電源)ランプが消灯もしくは、高速点滅やゆっくり点滅している場合は、販売店に連絡してください。(P.31「故障かな?と思ったら」を参照してください。)



動作確認のしかた

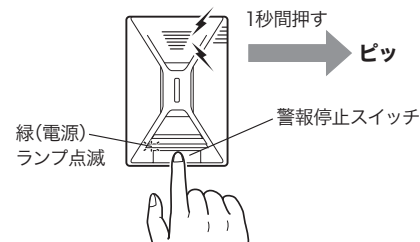
本警報器は、正常に動作していることを「警報機能の点検」および「他の火災警報器との連動点検」で確認することができます。

- ※ 以下の点検は、電源投入後に初回点検動作(*)を実施された場合の動作です。電源を入れ直した場合や、停電復帰後の点検動作は初回点検動作からとなり、警報停止スイッチを約3秒間長押しで火災連動と有電圧(12V⇔18V)が出力されます。
- * 施工説明書「5-5 外部機器への連動接続」の「外部機器との連動点検」の項を参照ください。



〈警報機能の点検〉

- ① 警報停止スイッチを約1秒間押し、「ピッ」と開始音が鳴り、緑(電源)ランプが点滅します。



- ② 以下のように作動することを確認してください。

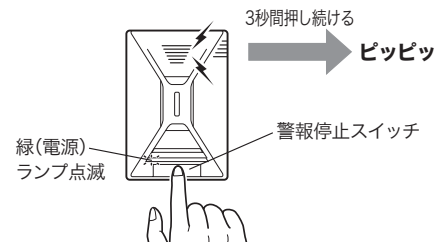
音声内容	ランプ				火災連動出力	有電圧出力 (12V⇔18V)
	緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤スライド(火災警報)		
「正常です」	点灯	点灯	点灯	点灯	OFF	OFF (6V)

- 過去約10日以内に警報が作動した場合のみ、全ランプが点灯、1秒間消灯のあと、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1.5秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

- ③ 監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。

〈他の火災警報器との連動点検〉

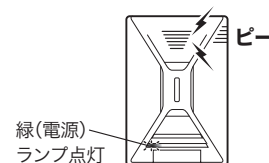
- ① 警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑(電源)ランプが点滅を開始、そのまま3秒間押し続けてください。「ピッピッ」と開始音が鳴ります。



- ② 警報停止スイッチから手を離すと以下のように作動することを確認してください。

動作順	音声内容	ランプ				火災連動出力	有電圧出力 (12V⇔18V)
		緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤スライド(火災警報)		
1	「ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください」	点滅			点灯	ON	OFF (6V)
2	「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	点滅		点灯		ON	OFF (6V)
3	「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	点滅	点灯			ON	OFF (6V)
4	無音	点滅			点灯	ON	OFF (6V)

- ③ 1分後に「ピー」と終了音が鳴り、赤スライド(火災警報)ランプが消灯し、監視状態(緑ランプ点灯)に戻ります。
- ※ 1分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。





故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
●緑(電源)ランプが消灯している。 ●警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源プラグが抜けていませんか。 電源ブレーカーが切れていませんか。 停電していませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ブレーカーを入れてください。 停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
警報器が温かくなっている。	—	通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。	販売店に連絡してください。(機器故障音声機能)
緑(電源)ランプがゆっくり点滅している。	警報器の有効期限切れを知らせています。警報停止スイッチを3秒間押ししてください。	「ピピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴りますので、新しい警報器に交換(有償)してください。(有効期限切れ音声機能)
火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.21 参照) ガス機器の異常が考えられます。 ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りのガス会社へ連絡してください。 ガス機器の点検を受けてください。(有償) それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときや、警報停止スイッチを3秒以上押したときに「ピピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.10 参照)



アフターサービスについて

- この警報器は、5年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていた上で、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。ただし、保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- 保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となることがあります。お取り付け時にご確認ください。
- この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間です。有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 引越しをされるときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 他の地区に引越されたときは、最寄りのガス事業者にご連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。

《お断わり》

有効期限は、保証書記載の年月よりも、警報器本体に貼ってある有効期限ラベルに記載の年月が優先されますので、有効期限ラベルの年月を確認してください。



仕様

項目		仕様	
火災警報機能	種別	定温式住宅用防災警報器	
	型式番号	住警第 26 ~ 123 号	
	検知原理	半導体(サーミスタ使用)	
	公称作動温度	65°C	
外部出力信号	相互鳴動用火災連動入力	有極性 自動復帰式	
	監視時入力(DC30V以下)	警報時出力(DC1.2V以下、100mA)	
ガス警報機能・CO警報機能	対象ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO	
	都市ガス	検知方式	半導体式
		ガス警報	作動条件 * 爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報 表示・発報方式 赤(ガス警報)ランプ点灯 音声合成警報音
	ガス	ガス注意報	作動条件 ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報 表示・発報方式 赤(ガス警報)ランプ点滅 発報音無し
		燃焼排ガス中のCO	CO警報
	CO注意報		作動条件 300ppmのCOに対し5分以内に注意報 表示・発報方式 黄(CO警報)ランプ点滅 発報音無し
	外部出力信号	有電圧出力	3段階有電圧2線式 (監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V、CO警報時DC18V)
		一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA)都市ガス用ガス警報器検査規程 認証合格品	
	共通仕様	警報音量	70dB(A)/m以上
		電源	AC100V±10V 50/60Hz
消費電力		監視時 約0.7W、警報時 約1.2W	
付属機能		通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能	
使用温度範囲		0°C~+40°C(結露しないこと)	
仕様	寸法・質量	幅85×高さ125×奥行40mm(突起部を除く)、約270g	
	電源コード	長さ 2.5m(約2.2mは警報器背面に巻取可能) 予備コンセント付プラグ (予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下)	
	付属品	コード振止め×3、木ねじ(φ3.1×10mm)×3、木ねじ(φ3.1×16mm)×2、 取付フック×1、ピン(φ1×20mm)×10、接続用リード線×1、取付板×1、 コード収納カバー×1、取扱説明書(本書)×1、施工説明書×1、保証書×1	

* 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界とって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

※ マイコンメーターと接続する場合は、警報器アダプターが必要になります。



取付位置の確認

⚠ 注意

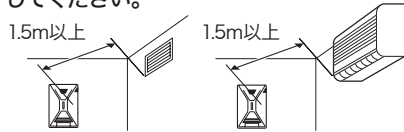
正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。

取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

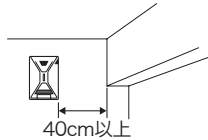
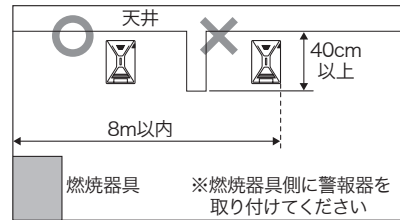
〈正しい取付場所について〉

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、緑（電源）ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が22～30cm以内の位置に取り付けてください。
- たれ壁やはりから40cm以上離してください。

- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。

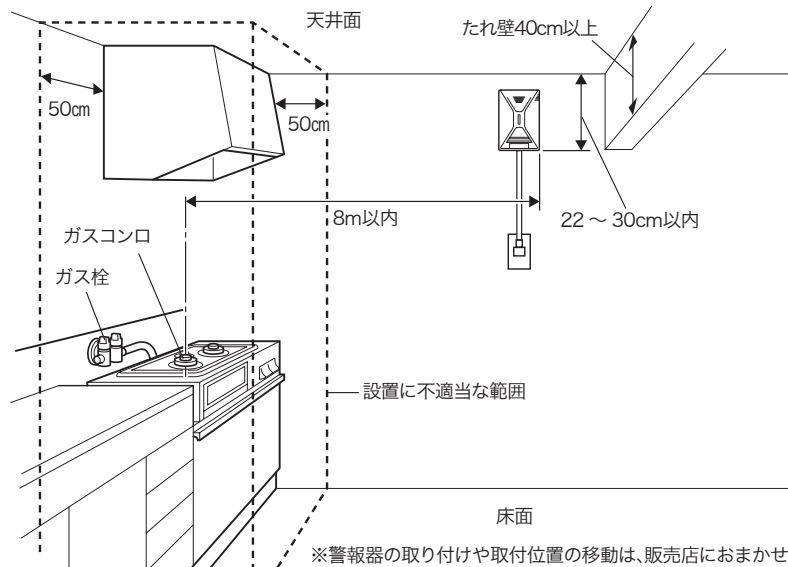


- 天井面が40cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



取付例

※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。



※警報器の取り付けや取付位置の移動は、販売店におまかせください。

〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

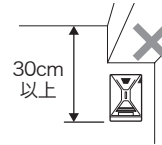
- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。

アルコール等で警報することがあります。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。

- すき間風の入る場所。

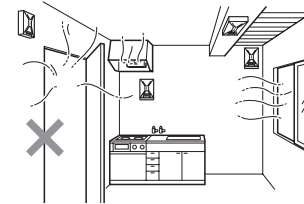
- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。



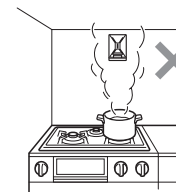
- たれ壁40cm以上で区切られている場所。

- エアコンなどの吹出口に近い場所。

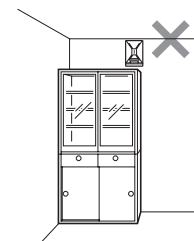
警報が遅れたり、検知できないことがあります。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

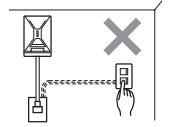


- 食器棚などの上部。警報が遅れます。



- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。

- 使用時でないとも電源を入れない場所。警報器としての機能を果たしません。

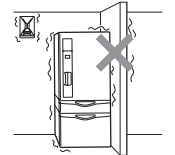


- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。

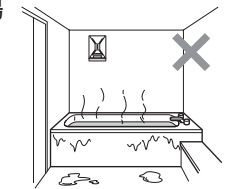


- 振動、衝撃の激しい場所。

センサの故障の原因になります。

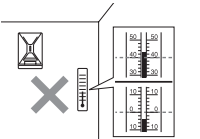


- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。感電や電気的故障の原因になります。

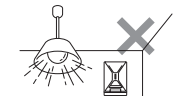


- 温度が0～+40°Cの範囲をこえる場所。

警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



- 照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。センサの故障の原因になります。



- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。警報が遅れることがあります。



- 業務用・工業用。家庭用です。業務用・工業用ではありません。

- 屋外。屋外用ではありません。